



2024 年度 東京大学

【 講 評 】

従来と変わらない出題形式であった。

1 (A)

時々、東大がやってしまうことだが、原文を切り張りの的に縮めたり、段落の順番を入れ替えたりして、要約用の短い文に変えてしまっているために、論理的なつながりが悪く、かえってまとめにくい文章になっている。要約は東大入試の英語の特徴的な問題とされているが、この問題で時間をかけると他の問題にしわ寄せがあるので、満点解答を目指さず、8割狙いの気持ちで解くのが良い。

1 (B)

読みやすい文章なので、(ア)は満点解答を狙いたい。ただし、構造を意識して英語を理解する習慣がない諸君には、(イ)の語順整序は難しいかもしれない。

2 (A)

今年の自由作文は、書きやすいテーマであった。

2 (B)

和文英訳も、理解しやすい日本語の英訳で、語彙もそれほど高くないので解答しやすかったのではないかな。

3

リスニング。問題A～Cまでの3題があり、1題が対話文となっている。リスニング問題が開始される前に、設問を理解しておくことが高得点のカギである。満点を目指す場合には、細かな数値もメモしていくべきだが、内容の趣旨が分かれば8割は取れる問題である。

4 (A)

正誤問題は2019年から連続して出題されている。1問は文脈に合わない表現を指摘する問題であったので、意味も理解しながら正誤を判定する力が必要な問題である。ただし、その他の問は、基本的な文法・語法が問われていたので、正解率は高かったように思われる。

4 (B)

下線部の(ア)は、構文を把握する力や、単語の推理力が必要であるが、それ以外は、文の構造も、語彙も簡単だったので、訳しやすかったのではないかな。

5

文章は読みやすく、語順整序問題以外は、それほど難しい問はない。ただ、問(A)の説明問題は、本文の内容から根拠を発見し解答を作成する習慣がない諸君は、正解に至らなかったのではないかな。

【 解 答 ・ 解 説 】

1 (A)

[解答]

プロパガンダは、暴力に頼らず、大衆の心を操る民主主義社会の重要な手段だが、ヒトラーの権力維持への悪用がこの用語のイメージを悪くし、他の用語が生まれた。(75字)

1 (B)

[解答]

(ア) (1) b (2) a (3) d (4) c (d) e

(イ) **asked an editor if I could describe a particular street as tree-lined but trash-scattered**

[解説]

1 (A)

要約表現は、反復的表現（置き換え、具体例）に注目し、内容をつかむことが重要である。
問題文の流れをまとめると次のようになる。（*同じ内容には同じ番号をつけている。）

(第1段落) アメリカではコーポレート①プロパガンダが重要な話題

②一般大衆が目にする全システムに及ぶ：

(具体例) 娯楽産業、テレビ、学校、新聞など

(第2段落) その目的は③大衆の心を操ること

④自由な社会では⑤暴力に頼ることが難しい

⑤武力・暴力の効率的な利用に代わるコントロールの仕組みが必要

(第3段落) Edward Bernays は「①Propaganda」を執筆。

→彼は④リベラル

彼は④リベラル左派(≡自由主義的な価値観を持ちつつ、社会的平等や正義を重視する立場)

(第4段落) Bernays の意見

③大衆の習慣や意見を意識的に操ることは②④民主主義社会の重要な特徴

②④民主主義に不可欠な特徴

それは⑥権力構造などを維持する手段でもある

(第5段落) その用語が⑦第二次世界大戦中に変わった

第二次世界大戦前には、①プロパガンダという用語が公然と使われた

⑦ヒトラー (⑥権力を維持するためにプロパガンダを利用した人物) のせいで、イメージが悪くなり、他の用語を使うようになっている

これをまとめると

①プロパガンダは、⑤暴力に頼らず、③大衆の心を操る②④民主主義社会の重要な手段だが、⑥権力維持への⑦ヒトラーの悪用がこの用語のイメージを悪くし、他の用語が生まれた。

といった要約になる。

1 (B)

(ア) 空所に入れるべき文を選択肢の中から選ぶ問題。

1. The ad was for a local butcher shop and read “All Parts of the Cow. 1. “All Parts of the Cow” has stayed with me for almost thirty years because it became the way I explain the difference between newspaper writing and magazine writing.

「その広告は地元の肉屋の広告であり、『All Parts of the Cow』と書いてありました。 1。『All Parts of the Cow』というフレーズが、私の心に残って 30 年近くになるが、それは、そのフレーズが、新聞を書くことと雑誌を書くことの違いを説明する時に私が使うものになっていたからです。」

答え b : I don't remember if this was the name of the butcher shop or its marketing slogan or simply a statement of fact, but it doesn't matter.

「これが、肉屋の名前だったのか、肉屋のキャッチフレーズだったのか、それとも、単に事実を述べていたのか覚えていない。でも、そんなことは問題でない。」

選択肢 b の this が “All Parts of the Cow” という広告を指し、選択肢 b の it doesn't matter の理由を、次の文の because 以下で説明していると考えることができる。

2. When I was a novice reporter on the night police beat at the Washington Post, I once left the newsroom at four a.m., wandered to the basement pressroom, and grabbed an actually hot-off-the-presses copy of the morning's paper, one with my article on the front page. At the bottom but never mind. It still felt great.

2. What I'm about to say is not meant to be a criticism of newspapers or newspaper people.
「私が、ワシントンポストの夜間の警察担当の新米記者だった時、朝 4 時に編集室を出て、地下の印刷室に行き、印刷したての朝刊をつかみました。一面に私の記事が載っている朝刊でした。載っていたのは一番下の方でしたが、そんなことはどうでもよかったのです。それでも嬉しかったのです。」

2。わたしがこれから言うことは、新聞や新聞業界の人の批判をするためのものではありません。」

答え a : By then, though, I had really started caring about my sentences, and I was worried about the limitations of newspapering.

「しかし、その時までには、自分の書く記事のことがとても気になり始めていました。新聞業務の限界について悩んでいたのです。」

2 の前では、新米の新聞記者として、警察番記者であった頃、自分の記事が新聞に載り嬉しく感じたことが述べられている。選択肢 a の By then の then は、その時のことを指しており、選択肢 a の though は、前文の It still felt great と対立的な感情 (caring about my sentences/ worried about the limitations of newspapering) を述べるという宣言になっている。そして、the limitations of newspapering という表現を使ったことに対して、 2 の後の文で、What I'm about to say is not meant to be a criticism of newspapers or newspaper people. (私は、新聞や新聞業界の人々の批判をしようとしているのではない。) と述べていると考えることができる。

3. Cliché is everywhere, especially in writing. Clichés are one of the prices we pay in journalism for

speed, but alertness and a brisk pre-edit scrub will eliminate most of them. .

「お決まりの表現は至る所に見られます。特に文章中には。お決まりの表現は、ジャーナリズムがスピードに対して払う代償の1つですが、注意を払い、事前編集でテキパキと校正すれば、そのほとんどが取り除けるものです。 .

答え d : I'm no great sentence maker, but I wanted—and still want—to try to be one, and I hoped to work for people who wanted me to try.

「私は文章を書くのがうまくはありませんが、うまく書こうと思っていたし、今でも思っています。そして、私にそういう努力をして欲しいと思う人々のために働こうと思ったのです。」

第7段落、第8段落では、「私」が新聞業界から雑誌業界に転職した理由の1点目が書かれている。1点目としては、「新聞業界はお決まりの表現であふれており、それを見直そうとする気がない」という点を挙げている。選択肢 d は、「お決まりの表現を見直そうとしない新聞業界を辞めるに至った結論」として、うってつけの文章である。

4. And most importantly, something that always and forever adds confusion and complexity to story making: the presence of writers (and their experiences, beliefs, personalities, histories, and predispositions) inevitably changes the reality of whatever the writers are observing and describing. . “Put it in, put it all in,” is an efficient way to describe this style of editing. Another way to describe it: “All parts of the cow.”

「そして、最も重要なことだが、記事を作成することを、常に、絶えず、混乱させ、複雑にするもの、つまり、書き手の存在（そして、彼らの経験、考え、個性、経歴、そして、気質）が、必ずや、書き手が目にし、説明しているものの現実を変えてしまうのです。 。」「それを盛り込んでしまえ。それ全部だ。」というのが、この編集スタイルを説明する簡潔な表現です。別の表現の仕方が、『All Parts of the cow』なのです。

答え c : I learned, over time, that the best magazine editors don't fear complication but run to it.

「時間をかけてわかったのだが、最も優れた雑誌の編集者は、複雑さを恐れず、それに頼るのです。」

選択肢 c の complication は、 の前の文にある complexity を言い換えた表現であり、選択肢 c の don't fear complication but run to it（複雑さを恐れず、複雑さに頼る）という編集者の姿勢を言い換えたものが、 の直後の“Put it in, put it all in”という表現だと考えることができる。

5. . Jen, Scott, and I realized, late in the process, that the story didn't even have anything resembling a nut-graf —～

「 。ジェンとスコットと私は、この記事を作成する過程の中の後の方で、この記事には、ナットグラフさえないことに気づきました。～」

答え e : It's impossible to describe, except to say that it contains all the mess of life and that it is written like poetry but in prose.

「この記事には、実生活の複雑な状況の全てが含まれ、詩のようにではなく散文で書かれてると言うこと以外には説明できません。」

この段落は、ジェニファーが書いた記事の説明をしている段落である。彼女の記事の説明になっているのは、選択肢 e しかない。

(イ) 与えられた語を並べ替えて、空所を埋めるのに適した表現を完成させる問題。

I once (イ).

与えられた語 : a/ an editor/ as/ asked/ but trash-scattered/ could/ describe/ I/ if/ particular/ street/ tree-lined

① I once に続く動詞は asked か、could describe

② if 節は、副詞節で「～ならば」、名詞節で「～かどうか」であるが、asked という告示動詞があるので、if 節は、asked の具体的内容を説明する名詞節（～かどうか）であると予想する。

→①と②から I once asked (ここに目的語が入るかも) + if I could describe～という形を予想する。

③ 与えられた語の中で、名詞の固まりをピックアップすると、an editor/ a street であるので、→I once asked an editor if I could describe a street～という形を予想する。

④ 残りは、as/ but trash-scattered/ particular/ tree-lined だが、この文の前にある内容から、trash-scattered と tree-lined が対になる表現だとわかるので、tree-lined but trash-scattered という表現ができあがる。

⑤ ここで問題となるのが as の品詞である。as には前置詞「～として」がある。通常、前置詞 as は名詞を伴うが、V+O の後では V+O+<as[形容詞]または [Vp.p.]>という形もあることを覚えておくべきである。

Ex. I regard him as honest.

「私は、彼を正直者だとみなしている。」

She described him as respected and popular.

「彼女は、彼は尊敬され人気があると説明した。」

→I once asked an editor if I could describe a street as tree-lined but trash-scattered となる。

⑥ 残った particular は、editor か street の前に置かれるが、前の文の内容から、「特別な通り」の説明であることがわかる。

→I once asked an editor if I could describe a particular street as tree-lined but trash-scattered. となる。

2 (A)

[解答]

「紙は人類の最も偉大な発明の1つである」

I agree that paper is one of the greatest human inventions. It has revolutionized the way information is recorded, stored and spread. Before its invention, information was mainly memorized by people themselves and spread orally, though important information could be written on other means, such as sheets of wood and stone. However, paper has changed the situation completely. Thanks to paper, information can be conveyed so easily and stored for so long a time.

[別解]

I don't think that paper is one of the greatest human inventions. It is one of the inventions which has had negative impacts on the environment. It has caused deforestation. It is made from wood and so to produce it, countless numbers of trees have been cut down. Furthermore, since trees absorb carbon dioxide from the atmosphere as they grow, the deforestation has caused the amount of carbon dioxide in the atmosphere to increase, leading to global warming.

「自転車は人類の最も偉大な発明の1つである」

I believe the bicycle is one of the greatest human inventions. It has made it far easier for us to move around. By bicycle, we can move faster and farther than on foot. Of course, in terms of speed and traveling distance, the automobile and the airplane are far superior. However, the bicycle is significantly more economical and more eco-friendly. You can buy a bicycle at much lower price and it doesn't need any petroleum, which produces greenhouse gases.

[別解]

I disagree that the bicycle is one of the greatest inventions. The bicycle is strong in some respects, where it's not the strongest. By bicycle you can move faster than on foot, but not faster than by car and by airplane. The bicycle is more economical and more eco-friendly than the automobile and the airplane, but walking is far more so. To walk, you don't need to buy a machine which causes pollution by its production and its disposal.

2 (B)

[解答]

Quota systems, whether temporary or not, are one of the effective means to eliminate inequalities promptly which have taken root over time. When they achieve their goals, they can be abolished in light of the principle of equality.

[別解]

The quota system, whether it is temporary or not, is an effective means to get rid of inequalities quickly that have been ingrained over a long period of time. When its goal is reached, it can be done away with considering the principle of equality.

[解説]

2 (A)

「紙は人類の最も偉大な発明の一つである」か「自転車は人類の最も偉大な発明の一つである」かのいずれかの主張に対する考えを理由を添えて 60~80 語の英語で述べる問題。

自分の考えと理由が書かれていれば設問の条件を満たしていることになる。60~80 語といったように語数も少ないので、**自分の考え**→**理由 (抽象的)**→**理由 (具体化・具体例)**という流れで端的にまとめるとよいが、字数に余裕があれば、譲歩を加えたり、結論を加えたりしてもよいだろう。たとえば、上の解答例を例にとると、

I agree that paper is one of the greatest human inventions. **自分の考え**

It has revolutionized the way information is recorded, stored and spread. **理由 (抽象的に)**

Before its invention, information was mainly memorized by people themselves and spread orally, though important information could be written on other means, such as sheets of wood and stone. However, **paper has changed the situation completely.** **(抽象的に)**

Thanks to paper, information can be conveyed so easily and stored for so long a time. **(具体化)**

理由 (具体的に)

という流れになっている。

2 (B)

「クォータ制は、それが一時的であろうがなかろうが一つの有効な手段であって、長い時間の中で根付いてしまった不平等を迅速に解消することを目的としている。それが達成されたあかつきには、クォータ制は、まさに平等の原理に照らして廃止することもできる。」を英訳する問題。

- 「クォータ制」:問題文には quota system という英語表現が書かれているが、quota system という名詞が可算名詞か不可算名詞かを判断し、正しい形で書かないと減点となる。「クォータ制」は様々な systems の一種なので、可算名詞である。その可算名詞全般の一般的性質を説明する場合は、限定詞(決定し)なしの複数形が普通であるので、quota systems とするか、その可算名詞の典型的性質を述べる場合は、the+単数形(代表単数)が使えるので、the quota system という形を用いてもよい。
- 「それが一時的であろうがなかろうが」:whether they(=quota systems) are temporary or not/ whether it(= the quota system) is temporary or not となるが、whether 節内では S+be 動詞が省略できるので、whether temporary or not でもよい。
- 「一つの有効な手段」:means (手段) は、単数形と複数形が同じ形の可算名詞である。したがって、「一つの有効な手段」は an effective means (means は単数形) か one of the effective means (means は複数形) という表現にするとよい。
- 「長い時間の中で根付いてしまった」:「(習慣など) が根付く」には take root という表現がある。または、be established や be ingrained など也可以用いる。「長い時間の中で」は over time/ over a long period of time などを用いる。

- 「～を解消する」: この場合の「～を解消する」とは「～を取り除く」の意味であるから、eliminate や get rid of などを用いる。
- 「～に照らして」には in (the) light of ~ という表現がある。considering ~ 「～を考え合わせて」や according to ~ 「～に応じて、従って」などを使ってもよいだろう。
- 「～を廃止する」: abolish ~ / do away with ~ などの表現がある。

英語の勉強

[解答]

- (A) (6) a (7) a (8) c (9) b (10) e
 (B) (11) e (12) c (13) a (14) c (15) e
 (C) (16) c (17) e (18) a (19) d (20) b

[解説]

(A) 2021年にスエズ運河で起きた出来事とその影響についての解説を聞き、問に答える問題。

- (6) 問「2021年3月のこの状況が、『馬鹿げた面と恐ろしい面が完璧に混じり合ったもの』として説明されています。話し手は、この表現で何を言いたかったのだと思いますか？」

選択肢

- a) ある意味おかしな話だが、世界貿易の脆さもまた明らかになった。
 b) 一隻の船がその運河の一部を破壊できることは、馬鹿げたことであった。
 c) 現代のコンテナ船はとても大きく、他の全てのものがちっぽけに見えてしまう。
 d) ネット上のコメントが、冗談と苦悩のメッセージに分かれた。
 e) 事態は予想に反して悪くなることを、この事態は私に思い出させた。

第1段落では、大型船がスエズ運河を塞いでしまった出来事を、*At first it seemed like a joke*（初めは冗談のように思えた）と述べ、後半では、*a too-perfect metaphor for all the problems that the world was facing in 2021*（2021年に世界が直面している問題の完璧すぎる象徴だ）と述べている。また、この段落の最終文では、*How could one ship in one place bring global trade to a halt?*（一つの場所にいる一隻の船が世界貿易を停止させることなどどうしてあり得るのか？）と「世界貿易」の問題点を挙げている。このことから問の答えを考えると、aが正解ということになる

- (7) 問「話し手によれば、Ever Given号は、どのようにして身動きがとれなくなったか？」

選択肢

- a) 極端に強い風で、船をコントロールできなくなった。
 b) 運河のその領域に砂が溜まった。
 c) 砂が、船のエンジンを完全に塞いでしまった。
 d) 嵐の間に航路を変えている間に、その船は、そこに、はまり込んだ。
 e) 気象条件を考慮すると、船はスピードを出し過ぎていた。

第2段落では、*hit by a seasonal sand storm/ winds of up to 50 miles per hour/ Blown off course/ in the face of violent winds* と言ったように「強風の影響」であることを反復的に述べているので、これは正解しやすかったのではないかと推測される。正解はaである。

- (8) 問「話し手によれば、Ever Given号が運んでいたものは」

選択肢

- a) 恐竜の模型とアドベンチャーゴルフコース

- b) 7,500 万ドル分の物品
- c) 主に果物と野菜
- c) 20,000 個を超えるコンテナ
- d) 30 個のエッフェル塔のレプリカ

第 3 段落で、Ever Given 号の大きさと、運搬物の説明がある。数値が多く出てくるが、それを聞き逃しても much of it fruit and vegetables which later had to be destroyed (その多くが、後に廃棄せざるをえない果物と野菜だ) が聞き取れていれば、c が正解であることがわかるはずである。

(9) 問「話し手は、なぜこの出来事を『起こるべくして起きた惨事』と説明しているのか？」

選択肢

- a) 気候の変化が、この運河の風圧を増大させた。
- b) 増加している世界貿易が、このような航路に負担をかけている。
- c) この種の出来事が起きたのは、これが初めてではない。
- d) この運河は、過剰な交通でゆっくりと損傷を受けていた。
- e) 運河の拡大によって、船がコントロールし難くなった。

第 5 段落に、this was a disaster waiting to happen. とあるので、これ以降に解答の根拠が現れる。次の文で Global trade has expanded enormously ~, with the sheer volume of traffic putting global choke points like the Suez Canal under increasing pressure, ~ (世界貿易が莫大に拡大し~、莫大な交通量がスエズ運河のような渋滞を引き起こす場所に負担をかけている。~) と述べている。この部分が聞き取れていれば、正解は b だということがわかる。

(10) 問「話し手が、このスエズ運河の封鎖から生じている最大の問題の 1 つとして述べているものは何か？」

選択肢

- a) 「封鎖は解消したが、この運河の砂は依然として問題である。」
- b) 「この問題を解決しようとする試みは、世界の船舶輸送の遅れを引き起こしている。」
- c) 「現代の船は、全長が長く、この種の事故は定期的に起きるだろう。」
- d) 「海運会社は、今や、より小さい船を利用し、積載量を減らしている。」
- e) 「船上にコンテナが積まれっぱなしでいることが、不足を生んだ。」

「この出来事から生じている最大の問題の 1 つ」については、最終段落で、One of the biggest problems caused by the Ever Given was holding up supply of shipping containers, which were already scarce; even now that's still a pressing issue. (Ever Given 号が引き起こした最大の問題の 1 つは、すでに不足していた運搬用のコンテナの供給を停滞させてしまったことであり、今でさえ、それは緊急の問題になっている。) と述べている。holding up という表現が分からなくても、この部分が該当箇所であることがわかれば、e が正解であることは明らかである。

(B) ラジオ番組の一部を聞き、問に答える問題。

(11) 問「Adisa によれば、配送がうまくいかなくなることには多くの原因があるのだが、Adisa が述べていなかったことは何ですか？」

選択肢

- a) 駐車場を探すのに長い時間がかかることがある。
- b) 間違った製品が配送用に選ばれるかもしれない。
- c) 注文の処理を間違えるかもしれない。
- d) ルート上にあまりにも多くの車が走っているかもしれない。
- e) 配送に使われる車が事故を起こすかもしれない。

交通事故については言及がないので、正解は e である。

(12) 問「漏斗(the funnel)の比喻で言いたいことは何ですか？」

選択肢

- a) 良い漏斗は、物質がゆっくり通過することを可能にする。
- b) 準備不足によって、システムが機能しないことがある。
- c) 配送の突然の増加が大きな影響を生むことがある。
- d) 配送の過程には、私たちが考えているより多くのステップがある。
- e) 道路網は、効率の良い配送を促進する。

funnel の意味がわからなくても、「米を the funnel にゆっくり注ぎ入れれば流れるが、とても急いで注ぐと、詰まってしまうことがある」と述べ、次の文で、「突然、ルート上でトラックが増えてしまう」と述べていることが聞き取れれば、配送中のトラックが渋滞する事情を the funnel の例で比喩的に説明していることは明らかである。正解は c である。

(13) 問「Patrick は、技術と輸送について何とっていますか？」

選択肢

- a) 輸送の問題について議論すると、大抵、技術の話題になる。
- b) ドローンは、物品を運ぶために使われることが多い。
- c) 配送は自律輸送にした方がよいだろう。
- d) 技術が唯一の解決策であることに疑いを持っている人もいる。
- e) 輸送の問題は、技術をいくつも織り交ぜることによってのみ解決できる。

Patrick は、And anytime we talk about transportation challenges in most conversations, technology gets brought up as a potential area of solutions in the context of freight and delivery.(ほとんどの会話で、輸送の問題について話すといつでも、技術が輸送や配送の解決策となる可能性がある分野であるとして話題にのぼる。)と言っている。したがって、a が正解である。

(14) 問「Patrick はインターネットで製品を注文することについて何を警告していますか？」

選択肢

- a) サイトは迅速な配送を提供するかもしれないが、それを保証することはできない。
- b) 「即日」と「翌日」を間違えやすい。
- c) 迅速な無料配送を提供するサイトには、大抵、隠れたコストがある。
- d) 一部のサイトは、無料の配送を提供するが、実際には、料金を課す。
- e) ウェブサイトは、そのサイトに誘い入れるために、点滅するバナーのような視覚的戦略を使うことが多い。

Patrick は、**that free delivery isn't really free** (その free の配送は、実際には free ではない) と言っている。この free を「無料の/ 料金を払う必要がない」の意味だと決めつけてしまうと、d を選んでしまうだろうが、次の Adisa の発言で **There's always a cost and we are going to, as a society, pay for the impacts of that. It may be environmental impacts.**(常に代償はあり、私たちは、社会として、その影響に代償を払うことになる。環境面への影響かもしれない。)と述べているから、**the free delivery isn't really free** の意味は、「その無料の配達は、実際には隠れた代償を払っている」ということであることをわかる。したがって、正解は c である。

(15) 問「Adisa は、安い、早い配送の代償として述べているものは何か？」

選択肢

- a) 配送の運転手が過労になっている。
- b) 急いで製造された物品は壊れやすい。
- c) 製品が、購入後すぐ捨てられることが多い。
- d) 配送の価格がやがて上がるだろう。
- e) 地球に余計な負担がかかっている。

(14)で触れた **There's always a cost and we are going to, as a society, pay for the impacts of that. It may be environmental impacts.**という Adisa の発言から、e を正解であることがわかる。

(C) パプアニューギニアにおける言語についての講義を聞き、問に答える問題。

(16) 問「話し手によれば、パプアニューギニアの言語の多様性の様子は、どのようなものですか？」

選択肢

- a) 世界の 850 の言語の 5%がそこで話されている。
- b) インドとほぼ同じ数の言語が話されている。
- c) 他のどの国と比べても、1人当たりの言語が最も多い。
- d) 小さな国土ではあるが、面積当たりの言語の数が最も多い。
- e) 世界の残りの言語を合計したものよりも多くの言語が話されている。

第 1 段落最終文で、**There are nearly 850 languages spoken in the country, making it the most linguistically diverse place on earth by far, both in total and per person.** (この国では 850 近くの言語が話されており、言語の総数でも、1人当たりの言語の数でも、地球上で圧倒的に一番言語が多様な

場所になっている。)と述べている。このことから、正解はcである。

(17) 問「パプア諸語は、パプアニューギニアで何年間に渡って話されていますか？」

選択肢

- a) 850
- b) 1,800
- c) 3,500
- d) 14,000
- e) 40,000

第2段落では、パプアニューギニアの言語についていくつかの数値が出てくる。設問を先に確認し、この数値を聞き取る準備ができていれば、混乱はなかったと思うが、そうでないと、この段落で出てくるいくつかの数値に騙されるかもしれない。第2段落の *the so-called “Papuan” languages, introduced by the first human settlers 40,000 years ago* という表現が聞き取れていれば、正解はeであることは明らかかなはずである。

(18) 問「1975年のオーストラリアからの独立以降、事態はどのように変化したか？」

選択肢

- a) 英語が公用語の1つとして宣言された。
- b) ドイツ語と英語が、より広まった。
- c) 一握りの人々によって話されている新たな言語が発見された。
- d) 独立した新たな政府が、言語の多様性を促進した。
- e) 話されている言語の数が850よりも少なくなった。

オーストラリアからの独立以降の変化については、第2段落の後半部で述べられている。そこに *Papua New Guinea adopted only three official languages, including English.* とある。したがって、英語が公用語の1つになったことが述べられているので、正解はaである。

(19) 問「話し手によれば、何が、パプアニューギニアの言語の多様性を説明するのに役立ちますか？」

選択肢

- a) 村の間での頻繁なやり取り
- b) 豊かな生物多様性
- c) 1000年ごとに新たな入植者がやって来ること
- d) 場所から場所へ移動し難いこと
- e) 言語学者の William Foley の影響

第3段落の第1文と第2文で、*In part, so many of these languages have survived thanks to Papua New Guinea’s wild landscapes. Mountains, jungles and swamps keep villagers isolated, preserving their languages.* (1つとしては、これらの言語のこんなに多くが存在し続けたのは、パプアニューギニアの大自然の地勢のおかげであった。山、ジャングル、そして、湿地が、村人たちを孤立させ、彼らの

言語を守っているのである。)と述べている。したがって、正解は d である。

(20) 問「どの意見が、現代のパプアニューギニアの“Tok Pisin”を説明していますか？」

選択肢

- a) “Tok Pisin”は、より表現力が優れているので他の地元の言語がゆっくりと姿を消している。
- b) パプア人にとって“Tok Pisin”は役に立っているが、言語の多様性を犠牲にしている。
- c) 宗教の普及が、最近、“Tok Pisin”の普及を後押しした。
- d) “Tok Pisin”が学びやすいのは、いくつかの言語の要素を含んでいるからである。
- e) 貿易商人は、ヨーロッパの言語を広めるために“Tok Pisin”を作ろうと決めた。

最終段落で、“Tok Pisin”が普及したことによって、パプアニューギニアの言語の多様性が脅かされていることが繰り返し述べられている。その趣旨に合うのは、a か b だが、「表現力が優れていること」は、“Tok Pisin”が普及した 1 つの要因であって、言語の多様性が脅かされている直接的な原因ではない。したがって、b が正解である。

4 (A)

[解答]

(21) (b) (22) (e) (23) (a) (24) (e) (25) (e)

4 (B)

[解答]

(ア) 時には、スイカの果肉を手掴みですくい、口に詰め込んだが、それは、私が知っていたどの動物の食べ方にもあまり似ているものではなかった。

(イ) 私は一人きりで家の裏にある森の中において、他の人が見たらどう思うかなどは考えもせず、胸を叩き、自分で考え出した物語を演じたことがあった。

(ウ) 私たち人間は動物であると小学校で学んだが、他の動物と違って、私たちは生存本能によって突き動かされているのではないように思えた。

[解説]

4 (A)

(21) (b) : feel either slower **and** faster → feel either slower **or** faster
either A or B 「A か B かのどちらか」。

(22) (e) : One item or sound from each pair **presented** for 200 milliseconds, ~
→ One item or sound from each pair **was presented** for 200 milliseconds, ~
present は「～を提示する」である。One item or sound は「提示された」のだから受け身にする。

(23) (a) : ~estimate **how** the presentation felt shorter or longer, ~
→ ~estimate **whether** the presentation felt shorter or longer ~
how を用いると、「その提示が、どのようにより短く感じられたり、より長く感じられたりする
かを見積もる」となり意味をなさない。how を whether に変えて「その提示が、より短く感じ
られたか、それとも、長く感じられたかを見積もる」とするのがよい。

(24) (e) : When there is **more** time between two beats, time seems to move faster.
→ When there is **less** time between two beats, time seems to move faster.
前文で When that span is longer, they discovered, time feels slower. (心臓の鼓動の間隔が長
くなると、時間はよりゆっくりと感じられると彼らは気づいた。)と述べているので、When there
is **more** time between two beats, time seems to move faster. (2 回の鼓動の間隔が大きいと、
時間がより速く進んでいるように思える) だと、前文の内容と矛盾する。more を less に変える
ことで、前文との対比の関係が成立する。

(25) (e) : ~something **similarly** fundamental as the passage of time
→ something **as** fundamental as the passage of time

similarly という副詞は、前の内容をさして、「それと同様に」という意味になるか、similarly to ~で「~と同様に」の意味になるので、この文では similarly だと意味の説明がつかない。

一方、**名詞①** + as **形容詞** as **名詞②** は、

(1) 「**名詞②**と同じくらい**形容詞**な**名詞①**」 (**名詞①**と**名詞②**が比較対象)

という意味と、

(2) 「**名詞②**といった**形容詞**な**名詞①**」 (**名詞①**と**名詞②**が同一物)

という意味がある。

問題文は(2)の用法だと考えると意味が通る。

~something **as** fundamental as the passage of time

「時の経過といった基本的なこと」

4 (B)

(ア) Sometimes, I'd rip handfuls out and stuff them in my mouth, which wasn't much like the way any animal I knew of ate. を和訳する問題。

○ I'd ~ :

would は、過去に反復された動作 (過去の習慣) を表すが、わざわざ「~ものだった」と訳す必要はない。(訳してもよいが。)
「~した」でよい。特に、この文は Sometimes (時々) で「反復」の意味は表されている。

○ rip handfuls out and stuff them in my mouth :

handfuls は前の内容から handfuls of the sweet red fruit-meat (the sweet red fruit-meat はスイカの果肉) であることは明らかである。rip ~out という表現を知らない受験生も多いだろうが、その表現を除けば、「一握りのスイカの果肉を複数回 (handfuls という複数形に注意) rid out し、それを口に詰め込んだ」という意味は分かるはずだ。前後の内容から、ここは、「私」が「野性的に」スイカを食べている場面の描写であるので、スプーンやフォークを使わず「スイカの果肉を手づかみですくっている」様子だと判断できるだろう。次の段落の最終文の I was embarrassed by folks and knives — why they should exist when we had such perfect instruments at the ends of our arms. (私はナイフやフォークに困惑していた。なぜ、腕の先端にこんなに完璧な道具 (つまり、「手」) があるのに、そんなもの存在するのか。) という文からも、スプーンやフォークを使わずにスイカを食べていたのだと判断できる。

○ which wasn't much like the way ~ :

which は主節で述べられているスイカの食べ方を指す。

○ ~the way any animal I knew of ate :

この部分の構造は、次のようになっている。

~the way **(関係副詞)**の省略) any animal **(関係代名詞)**の省略) I knew of ● ate

know of ~ は、「(間接的な体験から) ~を知っている」だが、そのニュアンスを訳出する必要はないだろう。

(イ) Alone in the woods behind our house I had beaten my chest, acted out my own invented stories

without a thought to how another's gaze might see me.を和訳する問題。

○ I had beaten my chest, acted out my own invented stories :

beaten～と acted～が並列で並んでいる。

○ without a thought to～ :

「～を考えもせずに」

○ how another's gaze might see me :

「他の人の目に私がどう映るだろう/ 他人が見たら私をどう思うだろう」

(ウ) I learned in elementary school that we were animals, but unlike other animals we did not seem driven by the instinct for physical survival.を和訳する問題。

○ drive :

「～を駆り立てる、～を動かす、～を突き動かす」

○ the instinct for physical survival :

逐語訳すると「身体の存続を求める本能」である。前の文で、「野生のテン (marten) は、感情面 (her own feelings)で参っていても、自分の赤ん坊のエサを手に入れ得ることを止めはしない。」と言っていることを受けて、「感情面、精神面」との対比で physical (身体面での、肉体面での) という語を使っている。しかし、この段落の第2文や、第5文では、survival を physical survival を同じ意味で使っているのだから、わざわざ physical を訳出して不自然な訳にする必要もあまい。the instinct for physical survival は「生存本能」という訳でいいだろう。

(A) 自宅への帰り道が、恐怖心なしに自分らしくいられる場であったということ。

(B) **had told me that I was the one**

(C) 夜道で、白人女性が自分の方に歩いてきた時、その女性を安心させるために、通りの反対側に移動することと、誰かが自分の後ろを歩いている時は、その人を怖がらせないように、突然振り返ったりしないこと。

(D) (ア) (26)d (27)e (28)a (29)b (30)c (31)f

(イ) e

(ウ) b

[解説]

(A) the way home became home を2つの home の意味を明らかにして説明する問題。

下線部の意味を説明する問題は、「下線部中の抽象表現や指示語や省略を、置き換えや対比の情報を利用して明確にする力」が問われている。前の文に **The streets had their own safety : Unlike at home, there I could be myself without fear.** (通りは、独自の意味で安全だった。自分の家とは違い、恐怖心なしに自分らしくいることができた。) と述べている。それを受けて、**the way home became home** (家への帰り道が、家になった) と言っている。したがって、最初の home は「自宅」を表し、2番目の home は、前の文で述べていた「恐怖心なしに自分らしくいられる安全な場所」の言い換えと考えることができる。また、最終段落の第2文に、**One definition of home is that it's somewhere we can most be ourselves.** (home の1つの定義は、私たちが最も自分らしくいられるところということである。) とも述べているので、「自分らしくいられる」という表現は解答に含めるべきだろう。

(B) 与えられた語を並べ替えて、下線部を埋めるのに適した表現を完成させる問題。

What no one _____ who would be considered a threat.

与えられた語 : had/ I/ me/ one/ that/ the/ told/ was/ was

① What no one ~ が主語になる名詞節だと予想できる。

② What 節内には名詞の位置が1箇所空いているはずである。

→ **What no one told me (●)** was ~ となるのでは？

③ 選択肢の that は接続詞で that+SV ~ という形を作ると予想できる。

→ What no one told me was that I was ~

④ had が余っているが、これは told の前に添え、過去完了形を作るものと考えられる。

→ What no one had told me was that I was ~

⑤ 残った the one を後に添えて、who ~ の先行詞にすれば、構造も意味も成立する。

→ What no one had told me was that I was the one who would be considered a threat.

「誰も教えてくれなかったのは、私の方が恐ろしい存在だと考えられる側の人物だということだった。」

(C) I returned to the old rules I'd set for myself in New Orleans. の the old rules に則って著者が実際に撮った行動の例を説明する問題。

「ニューオーリンズで自分のために作ったルール」とは、まわりの人に危険な存在だと勘違いされないように作ったルールのことであり、第8段落では My survival tactics と表現され、その段落で具体的な説明がなされている。そこに書いてあることをまとめればよい。

(D)

(ア) 空所に入れるべき文を選択肢の中から選ぶ問題。

(26) d : make friends with ~ 「～と友達になる」。

(27) e : pride oneself on ~ 「～を誇りに思う、～を自慢する」。

(28) a : advise + O + toV ~ 「O に～するよう助言する」。

(29) b : ここでは、警察によって不当に扱われたことが述べられているので、bullied (～をいじめた) がよい。

(30) c : 前の文の assumed の言い換えとして imagined が使われていると考えられる。

(31) f : 残った選択肢が stop であるが、意味的にも、語法的にも正しい。stop + Ving ~ 「～するのを止める」

(イ) 空所に入れるべき文を選択肢の中から選ぶ問題。

～ She walked around endlessly with me, taking in New York City's many pleasures. My impressions of the city took shape during my walks with her. But it wasn't long before reality reminded me I wasn't , especially when I walked alone.

「～ニューヨークの多くの楽しいものを見物しながら、彼女は私と延々と歩き回った。私のニューヨークについての印象は、この彼女とのデートの間に作られた。しかし、まもなく、私は、特に一人で歩いている時は、ではないという現実をまた思い知らされた。」

答え e : invulnerable は「傷つけられることはない」の意。この文の後で、白人男性に突然殴られたエピソードが書かれている。彼女とのデートでは、ニューヨークは楽しい場所だという印象を持ったが、実際には、1人で歩いている時には安全ではないのだ、ということを知ったという内容である。この意味になるのに最も適した選択肢は、invulnerable である。

(ウ) 本文の内容を一致するものを1つ選ぶ問題。

a) 「しばらくアメリカに住んだ後、著者は、キングストンもニューオーリンズもニューヨークも安全と言う点では大して変わらないと気づいた。」

故郷のキングストンでは、通りが自分らしくいられる安全な場であったが、ニューオーリンズやニューヨークでは肌の色で差別され安全ではいられなかったという内容が本文には書かれている。したがって、本文とは一致しない。

b) 「恐怖心や不安なしに都市の通りを歩くことができることは、著者にとっては自由の重要な要因

である。」

最終段落の第6文と第7文で、**But more than anything else, we long to be free. We want the freedom and pleasure of walking without fear**～（しかし、他の何よりも、私たちは自由になることを切望している。恐怖心なしに歩く自由と喜びが欲しいのである。～）と述べている。この内容と選択肢は一致する。

- c) 「著者にとって、歩くことは人種差別や警察への反抗の行為である。」

ニューオーリンズでは、歩いている時に、警察に何をされても抵抗しないことや、人種差別により不当な行為を受けないように気をつけて行動することを学んだということが本文では書かれている。したがって、本文とは一致しない。

- d) 「アメリカの都市を歩くことが、著者にとって、ストレスを生む経験でないのは、彼が、通りで自分のあらゆる動きに注意を払うことに慣れているからである。」

著者は、「不安なしに自分らしくいられる場」を求めているので、「自分のあらゆる動きに注意を払う場」が「ストレス生む経験ではない」という内容は、本文と一致していない。

- e) 「キングストンに住んでいる間、著者は、自分の子どもの頃の家庭にいる時と、その都市の様々な通りに居る時とでは、同じくらい居心地がよかった。」

キングストンでは、自宅に居たくなかったために、夜遅くまで通りをぶらついていたことが描かれている。したがって、本文と一致しない。

お問い合わせは ☎ 0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>